

## 1. 第 107 回総会 (東京) 終了

平成 30 年 6 月 21 日 (木)~23 日 (土) まで、北海道大学 笠原正典会長のもとロイトン札幌, ニトリ文化ホール, さっぽろ芸文館にて開催された第 107 回総会は盛会のうちに終了いたしました。

## 2. 平成 29 年度事業報告及び決算について

平成 30 年 6 月 22 日開催の平成 30 年度定時社員総会(第 107 回札幌総会)において、標記の件が以下の通り承認されました。

### (1) 平成 29 年度事業報告

平成 29 年 4 月 1 日~平成 30 年 3 月 31 日まで

#### I. 学術集会, 研究会等の開催

##### 1. 学術集会の開催

###### (1) 第 106 回日本病理学会総会

(於 東京・落合淳志会長)

###### (2) 第 63 回日本病理学会秋期特別総会

(於 東京・内藤善哉会長)

##### 2. 研究会, 講習会等の開催

###### (1) 第 14 回日本病理学会カンファレンス

###### (2) 細胞診講習会

###### (3) 病理診断講習会・分子病理診断講習会・剖検講習会

###### (4) 第 11 回診断病理サマーフェスト

###### (5) 各支部における学術・研究集会, 「夏の学校」等

##### 3. 市民公開講座・シンポジウムの開催

#### II. 学会誌, 学術図書等の発行

##### 1. 「日本病理学会会誌」の発行 (第 106 巻第 1~2 号)

##### 2. 「Pathology International」の発行 (Vol. 67 4~12, Vol. 68 1~3)

##### 3. 「診断病理」の発行 (第 34 巻第 2~4 号, 第 35 巻第 1 号)

##### 4. 「日本病理学会会報」の発行 (第 351~362 号)

##### 5. 「お知らせ」(第 28 号~31 号) の発行

##### 6. 「病理専門医部会報」の発行 (平成 29 年 第 2~4 号, 30 年 第 1 号)

#### III. 研究および調査並びに知識の普及

##### 1. 「日本病理剖検輯報」の発行 第 58 輯 (平成 27 年症例)

##### 2. 剖検輯報編集方法の充実

##### 3. 剖検記録データベースの更新

##### 4. 病理学卒前教育の充実

##### 5. インターネットホームページの充実

##### 6. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 委託事業の実施

(1) 「ゲノム研究用試料に関する病理組織検体取扱規定の策定及び病理組織取扱いに関する実証研究」

(2) 「AI 等の利活用を見据えた病理組織デジタル画像 (P-WSI) の収集基盤整備と病理支援システム開発」及び「人工知能の利活用を見据えた日本病理学会, 日本医学放射線学会の画像連携による原発性脳腫瘍のデータベース連携における問題点・課題の抽出および地域連携における自立・持続型画像登録連携拠点の基盤構築・整備」

#### IV. 研究の奨励および研究業績の表彰

##### 1. 日本病理学賞 (宿題報告) の授与

##### 2. 病理診断学賞 (病理診断特別講演) の授与

##### 3. 日本病理学会学術研究賞 (A 演説) の授与

##### 4. 日本病理学会学術奨励賞の授与

##### 5. 100 周年記念病理学研究新人賞の授与

#### V. 病理専門医等の資格認定及び病理診断関連活動

##### 1. 病理専門医・口腔病理専門医の認定・試験の実施及び資格の更新

##### 2. 病理専門医の広報

##### 3. 病理専門医研修施設の認定および資格の更新

##### 4. 病理専門研修プログラムの運用指導

##### 5. 暫定分子病理専門医の認定

##### 6. 病理解剖研修の充実

##### 7. 生涯教育の充実

##### 8. 病理診断コンサルテーションシステムの充実

##### 9. 病理精度管理体制の充実

##### 10. 各種ガイドラインの作成 (「ゲノム診療用病理組織取扱い規程」他)

##### 11. 医療における病理診断・病理解剖の推進

#### VI. 学術団体等との協力, 連絡

##### 1. 学術団体等との会議共催および後援 (国内) の実施

##### 2. 腫瘍取扱い規約等の改訂

##### 3. 海外病理学会との交流

(1) 英国病理学会との会員の相互派遣, 学術交流

(2) ドイツ病理学会との学術交流

(3) アジア各国との学術交流

#### VII. その他目的を達成するために必要な事業

1. 会員システムの導入
2. 医師賠償責任保険加入取扱いの実施

(2) 平成 29 年度決算報告書

1) 貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日現在  
(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減額
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金・預金	178,527,685	151,241,194	27,286,491
未収金	0	0	0
前払金	8,405,972	638,272	7,767,700
仮払金	0	0	0
未収消費税等	0	150,700	△ 150,700
流動資産合計	<b>186,933,657</b>	<b>152,030,166</b>	<b>34,903,491</b>
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	30,000,000	30,000,000	0
基本財産合計	<b>30,000,000</b>	<b>30,000,000</b>	<b>0</b>
(2) 特定資産			
学術医療振興基金引当預金	98,435,816	98,435,525	291
国際交流基金引当預金	20,157,802	20,158,496	△ 694
100 周年記念事業引当資産	5,212,750	5,912,703	△ 699,953
退職給付引当預金	13,720,000	13,720,000	0
特定資産合計	<b>137,526,368</b>	<b>138,226,724</b>	<b>△ 700,356</b>
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	36,263,868	0	36,263,868
保証金	1,578,780	1,578,780	0
長期貸付金	1,000,000	1,000,000	0
その他固定資産合計	<b>38,842,648</b>	<b>2,578,780</b>	<b>0</b>
固定資産合計	<b>206,369,016</b>	<b>170,805,504</b>	<b>△ 700,356</b>
資産合計	<b>393,302,673</b>	<b>322,835,670</b>	<b>34,203,135</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	51,407,250	0	51,407,250
前受金	3,950,000	3,592,000	358,000
預り金	457,265	306,933	150,332
仮受金	0	0	0
未払法人税等	2,279,000	2,918,500	△ 639,500
未払消費税等	501,700	0	501,700
流動負債合計	<b>58,595,215</b>	<b>6,817,433</b>	<b>51,777,782</b>
2. 固定負債			
退職給付引当金	13,720,000	13,720,000	0
固定負債合計	<b>13,720,000</b>	<b>13,720,000</b>	<b>0</b>
負債合計	<b>72,315,215</b>	<b>20,537,433</b>	<b>51,777,782</b>
<b>III 正味財産</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(うち基本財産への充当額)	( 0)	( 0)	0
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	0
2. 一般正味財産	320,987,458	302,298,237	18,689,221
(うち基本財産への充当額)	( 30,000,000)	( 30,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(103,654,015)	(104,353,961)	△ 699,946
正味財産合計	<b>320,987,458</b>	<b>302,298,237</b>	<b>18,689,221</b>
負債及び正味財産合計	<b>393,302,673</b>	<b>322,835,670</b>	<b>70,467,003</b>

## 2) 正味財産増減計算書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	302	300	2
基本財産受取利息	302	300	2
② 特定資産運用益	1,181	1,235	△ 54
特定資産受取利息	1,181	1,235	△ 54
③ 受取会費	67,820,000	67,027,982	792,018
学術評議員受取会費	18,018,000	18,165,000	△ 147,000
一般会員受取会費	31,092,000	31,065,782	26,218
機関会員受取会費	0	483,200	△ 483,200
賛助会員受取会費	200,000	0	200,000
終身受取会費	3,300,000	2,500,000	800,000
病理専門医部会受取会費	15,210,000	14,814,000	396,000
④ 事業収益	199,459,803	197,976,915	1,482,888
学術集会収益	139,226,387	139,164,535	61,852
論文掲載料収益	0	0	0
広告料収益	855,000	1,119,000	△ 264,000
刊行物発行収益	10,412,910	10,748,540	△ 335,630
専門医制度収益	24,508,000	22,239,000	2,269,000
病理専門医部会収益	3,939,216	4,077,580	△ 138,364
講習会等収益	6,852,945	4,535,000	2,317,945
支部集会等収益	10,567,932	13,040,398	△ 2,472,466
賠償保険事務費収益	3,097,413	3,052,862	44,551
⑤ 受取委託収入	672,366,500	16,977,794	655,388,706
受取委託収入	672,366,500	16,977,794	655,388,706
⑥ 受取寄付金	700,000	2,224,080	△ 1,524,080
受取寄付金	700,000	2,224,080	△ 1,524,080
⑦ 雑収益	17,638,968	15,165,318	2,473,650
受取利息	3,744	6,582	△ 2,838
雑収益	5,828,420	3,571,384	2,257,036
著作権協会分配金	0	0	0
科学技術振興事業団	60,926	18,144	42,782
PI ロイヤリティ	7,171,794	7,763,817	△ 592,023
著作権利用料	4,574,084	3,805,391	768,693
編集協力費収入	0	0	0
経常収益計	<b>957,986,754</b>	<b>299,373,624</b>	<b>658,613,130</b>
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	16,471,449	17,523,958	△ 1,052,509
臨時雇賃費	1,198,283	1,361,253	△ 162,970
退職給付費用	0	17,283	△ 17,283
福利厚生費	2,578,558	2,850,418	△ 271,860
会議費	3,270,300	10,838,778	△ 7,568,478
旅費交通費	16,524,516	8,415,612	8,108,904
間接旅費交通費	585,468	329,273	256,195
通信運搬費	26,017,164	3,418,676	22,598,488
間接通信運搬費	2,926,621	2,533,531	393,090
減価償却費	4,605,492	0	4,605,492
消耗什器備品費	54,330,527	0	54,330,527
消耗品費	42,298,573	35,566,913	6,731,660
間接消耗品費	3,298,889	3,710,820	△ 411,931
修繕費	262,016	20,403	241,613
印刷製本費	34,225,173	48,895,516	△ 14,670,343

間接印刷製本費	1,234,754	1,729,965	△ 495,211
光熱水料費	481,262	135,331	345,931
賃借料	121,438,252	27,890,928	93,547,324
間接賃借料	2,460,137	1,729,758	730,379
保険料	0	18,009	△ 18,009
諸謝金	12,639,926	16,300,590	△ 3,660,664
間接諸謝金	6,561,030	8,461,203	△ 1,900,173
租税公課	551,200	363,900	187,300
支払負担金	1,726,900	1,774,050	△ 47,150
支払助成金	0	0	0
支払寄付金	20,430,000	150,000	20,280,000
委託料	544,568,222	54,911,278	489,656,944
雑 費	12,932,370	32,819,450	△ 19,887,080
間接雑費	495,839	980,328	△ 484,489
<b>事業費計</b>	<b>934,112,921</b>	<b>282,747,224</b>	<b>651,365,697</b>
② 管理費			
給料手当	876,045	930,281	△ 54,236
退職給付費用	0	1,169	△ 1,169
福利厚生費	138,541	185,207	△ 46,666
会議費	0	0	0
旅費交通費	37,988	21,360	16,628
通信運搬費	190,153	164,613	25,540
消耗什器備品費	12,211	0	12,211
消耗品費	214,327	241,059	△ 26,732
修繕費	5,824	1,305	4,519
印刷製本費	80,231	112,345	△ 32,114
光熱水料費	31,229	8,744	22,485
賃借料	159,785	112,351	47,434
保険料	0	1,161	△ 1,161
諸謝金	426,258	549,681	△ 123,423
租税公課	0	0	0
支払助成金	0	0	0
雑 費	32,234	63,673	△ 31,439
<b>管理費計</b>	<b>2,204,826</b>	<b>2,392,949</b>	<b>△ 188,123</b>
③ 他会計への繰出額	0	0	0
他会計への繰出額	0	0	0
<b>経常費用計</b>	<b>936,317,747</b>	<b>285,140,173</b>	<b>651,177,574</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>21,669,007</b>	<b>14,233,451</b>	<b>7,435,556</b>
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	21,669,007	14,233,451	7,435,556
法人税、住民税及び事業税	2,279,786	2,919,747	△ 639,961
当期一般正味財産増減額	19,389,221	11,313,704	8,075,517
一般正味財産期首残高	302,298,237	293,208,613	9,089,624
一般正味財産期末残高	321,687,458	304,522,317	17,165,141
II 指定正味財産増減の部			
① 受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
② 一般正味財産への振替額	△ 700,000	△ 2,224,080	1,524,080
一般正味財産への振替額	△ 700,000	△ 2,224,080	1,524,080
当期指定正味財産増減額	△ 700,000	△ 2,224,080	1,524,080
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	<b>320,987,458</b>	<b>302,298,237</b>	<b>18,689,221</b>

3) 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)に基づいて作成している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金…従業員の退職給付に備えるため、当期末における期末要支給額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	30,000,000	0	0	30,000,000
小計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
学術医療振興基金引当預金	98,435,525	831	540	98,435,816
国際交流基金引当預金	20,158,496	170	864	20,157,802
100周年記念事業引当資産	5,912,703	47	700,000	5,212,750
退職給付引当預金	13,720,000			13,720,000
小計	138,226,724	1,048	701,404	137,526,368
合計	168,226,724	1,048	701,404	167,526,368

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	30,000,000	—	(30,000,000)	—
小計	30,000,000	—	(30,000,000)	—
特定資産				
学術医療振興基金引当預金	98,435,816	—	(98,435,816)	—
国際交流基金引当預金	20,157,802	—	(20,157,802)	—
100周年記念事業引当資産	5,212,750	—	(5,212,750)	—
退職給付引当預金	13,720,000	—	—	(13,720,000)
小計	137,526,368	( )	(123,806,368)	(13,720,000)
合計	167,526,368	( )	(153,806,368)	(13,720,000)

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金		0	0	0	0	—
合計		0	0	0	0	

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 受取寄付金への振替額	700,000
合 計	700,000

6. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳 (単位：円)

① 退職給付債務	13,720,000
② 退職給付引当金	13,720,000

(3) 退職給付費用に関する事項 (単位：円)

① 勤務費用	0
② 退職給付費用	0

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

4) 財産目録

平成 30 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金		178,527,685	
現金 現金手許有高	930,182		
普通預金 みずほ銀行本郷支店	23,983,990		
普通預金 みずほ銀行本郷支店	4,486,870		
普通預金 みずほ銀行本郷支店	3,233,221		
普通預金 みずほ銀行本郷支店	3,661,671		
普通預金 三菱東京UFJ銀行本郷支店	177,114		
普通預金 みずほ銀行本郷支店	929,534		
普通預金 みずほ銀行本郷支店	0		
普通預金 みずほ銀行本郷支店	20,429,903		
普通預金 みずほ銀行本郷支店	67,007,524		
定期預金 みずほ銀行本郷支店	113,269		
郵便振替貯金	21,839,862		
支部現金預金	31,734,545		
未収金		0	
前払金		8,405,972	
家賃	405,972		
第107回日本病理学会総会 開催準備金	5,000,000		
第64回日本病理学会秋期総会 開催準備金	2,000,000		
第15回日本病理学会カンファレンス 補助金	1,000,000		
流動資産合計		186,933,657	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	30,000,000		
(普通 三菱東京UFJ銀行本郷支店)			
基本財産合計	30,000,000		
(2) 特定資産			
学術医療振興基金引当預金			
(普通 三菱東京UFJ銀行春日町支店)	98,435,816		
国際交流基金引当預金			
(普通 りそな銀行本郷支店)	20,157,802		
100周年記念事業引当資産			

(普通 みずほ銀行本郷支店)	5,212,750		
退職給付引当預金	13,720,000		
特定資産合計	137,526,368		
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	36,263,868		
保証金 (聖堂前ビル)	1,578,780		
長期貸付金 (日本専門医機構)	1,000,000		
その他固定資産合計	38,842,648		
固定資産合計		206,369,016	
資産合計			393,302,673

科目	金額		
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金		51,407,250	
委託関連費	39,825,827		
寄付金 (病理学研究推進)	10,630,000		
人件費 (パーソナルテックスタッフ他)	951,423		
前受金		3,950,000	
平成30年度終身会費部会費	3,600,000		
平成30年度一般会費	314,000		
平成30年度専門医部会会費	36,000		
預り金		457,265	
源泉所得税	275,882		
雇用保険料	54,883		
市区民税	87,500		
年会費預り (1名)	39,000		
仮受金		0	
未払法人税等		2,279,000	
法人税他	2,279,000		
未払消費税等		501,700	
消費税	501,700		
流動負債合計		58,595,215	
2. 固定負債			
退職給付引当金	13,720,000		
固定負債合計		13,720,000	
負債合計			72,315,215
正味財産			320,987,458

### 3. 名誉会員の推戴について

同定時社員総会において、以下の4名が平成30年度新名誉会員に推戴されました（敬称略・ABC順）。

小池 盛雄 小川 勝洋 長村 義之 下田 忠和

### 4. 功労会員の推戴について

同定時社員総会において、以下の35名が平成30年度新功労会員に推戴されました（敬称略・ABC順）。

秋月真一郎	藤林真理子	橋本 公夫	北條 洋
市原 周	井上 泰	石原 法子	岩井 泰博
出雲 俊之	加藤 元一	加藤 良平	河原 栄
蔵野 良一	黒田 誠	黒岩 俊彦	桑原竹一郎
丸山 博司	長沼 廣	中本 周	中野 龍治
西澤 恭子	佐藤 昌明	澤田 典均	重松 和人
宗 寛之	杉谷 雅彦	竹屋 元裕	田村 浩一
田中 道雄	立野 紘雄	立山 尚	浦田 洋二
和田 勝則	八十嶋 仁	吉田 幸子	

### 5. 学術評議員について

同定時社員総会において、以下の52名が平成30年度新学術評議員として承認されました（敬称略・ABC順）。

阿部 治幸	新井 秀雄	裴 有安	藤田 修一
藤田 泰子	後藤 清香	濱谷 茂治	原 貴恵子
平木 由佳	市原 真	井出 良浩	岩越 朱里
金子 有子	加留部謙之輔	勝郷 浩紀	計良 淑子
木原 淳	木脇 圭一	北村 昌紀	北蘭 育美
小林 一博	児玉理恵子	藏本 純子	松村 望
松下 倫子	三浦 圭子	宮坂 知佳	西田 直代
西島 亜紀	野崎 中成	小倉加奈子	大橋 明子
尾原健太郎	大江 知里	大竹 徹	坂田 征士
佐久間貴彦	菅野 雅人	高橋恵美子	竹井 雄介
谷川 健	寺崎 美佳	津田真寿美	津山 直子
浦岡 直礼	鷺見 公太	山田 勢至	山田 裕一
米田 玲子	吉田 裕	吉本 豊毅	吉澤 忠司

### 5. 平成29年度（第18回）学術奨励賞の授与について

同定時社員総会に先立ち、標記授与式が行われ、深山正久理事長、笠原正典会長より、加藤洋人（東京医科歯科大学難治疾患研究所 ゲノム病理学分野）、眞杉洋平（慶應義塾大学 医学部 病理学教室）、沖田結花里（筑波大学 医学医療系 実験病理学研究室）、坂本直也（広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 分子病理学）の各受賞者（敬称略・応募順・4名）に賞状および楯が授与されました。

### 6. 平成29年度日本病理学会100周年記念病理学研究新人賞について

第107回日本病理学会総会第1日目午後2次審査を実施し、以下の3名のみなさんの受賞が決定しました。後日、副賞として10万円および楯がおくられます（敬称略・ABC順）。

北脇 優子（東北大・病理診断学）「コルチゾール産生性副腎皮質腺腫内の免疫細胞浸潤のメカニズムの解明」

牧瀬 尚大（国立がん研究センター中央病院）「脱分化ないし異所性分化を示す肉腫におけるMDM2増幅とH3K27me3消失の診断的意義に関する研究」

谷山 大樹（呉医療センター・中国がんセンター病理診断科）「胃腺腫の長期予後に関する検討；腫瘍関連組織球は胃腺腫における癌の発生に関与する」

授賞式報告：

<http://pathology.or.jp/jigyuu/100syuunen/rookie-award-180629.html>

### 7. 病理解剖に関するアンケート調査結果について

病理解剖が医学に果たす役割については、改めて強調する必要はないものと思います。臨床病理検討会（CPC）において病理解剖結果を医療者が共有し症例を検討することで、病院、医療界の「相互検証力」を一定の水準に保つことは、我国の医療の質を担保する土台と言っても過言ではありません。しかし剖検の実施数は平成に入ってから年々減少しており、平成16年の約2万件に対し平成26年には約1万件と10年間で約半数となっています。

このため、日本病理学会では減少を食い止め、病理解剖が着実に実施される環境を整備するための努力をしています。その一つとして、病理解剖への財政的裏付けのため、「国民のためのよりよい病理診断に向けた行動指針2017」で「医療安全対策加算」の見直しを要望しています。また、今回、具体的な対策を考えるため日本内科学会と共同で、教育病院を対象にアンケート調査を行い、その結果をまとめましたので、ご報告いたします。

参照HP：

<http://pathology.or.jp/news/whats/autopsy2018.html>

## お知らせ

### 1. 第5回日本医療安全学会学術総会

日程：2019年2月9日（土）～10日（日）

会場：東京大学本郷キャンパス

参照 HP：<http://jpscsc.org/5thJPSCS/>

### 2. 2018年度「第39回猿橋賞」について

標記の件につきまして詳細は下記 HP をご確認ください。

参照 HP：<http://www.saruhashi.net/>

### 3. 2018年度「内藤記念科学振興賞」候補者推薦について

本学会からの推薦を希望される方は、下記より財団の要綱を参照の上、各締切期日1ヶ月前までに本学会事務局宛ご連絡下さい。

参照 HP：<https://www.naito-f.or.jp/jp/index.php>

お問い合わせ：（公財）内藤記念科学振興財団

〒113-0033 東京都文京区本郷3-42-6

NKDビル8階

### 4. 「平成30年度研究業績褒賞（上原賞）」候補者推薦について

標記の件につき本学会からの推薦を希望される会員は下記を参照の上、8月15日までに本学会事務局宛ご連絡下さい。

主催：公益財団法人上原記念生命科学財団

参照 HP：<http://www.ueharazaidan.or.jp/>

### 5. 平成30年度「第59回東レ科学技術賞」および「第59回東レ科学技術研究助成」候補者推薦について

本学会からの推薦を希望される場合は下記 HP を確認の上、8月15日までに本学会事務局宛ご連絡下さい。

参照 HP：<http://www.toray-sf.or.jp/>

主催：公益財団法人東レ科学振興会



2018 年



## 2018 年 IAP 日本支部病理学教育セミナーのお知らせ

IAP 日本支部主催 日本病理学会後援

日 時：2018 (平成 30) 年 11 月 24 日 (土)

場 所：広島国際会議場 広島市中区中島町 1-5 (平和記念公園内)

会 長：谷山 清己 (呉医療センター・中国がんセンター)

副会長：安井 弥 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院分子病理学)

### ●病理診断講習会 午前 9:00 ~ 11:45

特別講演 (英語講演)

「Reflection on My Forty Two Years of “Skin Game” with a Special Report on Cutaneous Malignant Lymphoma in Northern Taiwan」

Tseng-tong Kuo, MD (Chang Gung Memorial Hospital, Taipei, Taiwan)

### ●教育講演 (テーマ：節外性リンパ腫)

1. 「節外性リンパ腫 (1)：イントロダクションと消化管 B 細胞リンパ腫」

吉野 正 (岡山大学大学院医歯学総合研究科病理学)

2. 「節外性リンパ腫 (2)：他臓器及び T/NK 細胞リンパ腫」

中村 直哉 (東海大学医学部基盤診療系病理診断学)

### ●スライドセミナー

1 時限目 13:00 ~ 15:00

\*A-1 皮膚の腫瘍性疾患

新井 栄一 (埼玉医科大学国際医療センター病理診断科)

B-1 リンパ腫

竹内 賢吾 (公益財団法人がん研究会がん研究所分子標的病理プロジェクト・病理部)

C-1 非腫瘍性腸疾患 (腫瘍様病変も含む)

味岡 洋一 (新潟大学医歯学総合研究科分子・診断病理学分野)

D-1 頭頸部腫瘍の病理 (鼻副鼻腔中心)

湊 宏 (石川県立中央病院病理診断科)

2 時限目 15:15 ~ 17:15

\*A-2 骨髄病理の基礎と診断

伊藤 雅文 (名古屋第一赤十字病院病理部)

B-2 周産期胎盤と絨毛性疾患

南口 早智子 (京都大学医学部附属病院病理診断科)

C-2 改訂 WHO 分類からみた脳腫瘍の病理診断

小森 隆司 (東京都立神経病院検査科)

D-2 小児腫瘍

田中 祐吉 (神奈川県立こども医療センター病理診断科)

\* 印は新規コース

〔参加方法〕 IAP 日本支部ホームページにてオンライン登録 申し込み期間：2018 年 8 月 29 日 (水)~10 月 10 日 (水)までを予定しています。

午前の病理診断講習会、午後のスライドセミナーともに、事前の web 上での申し込み、及び事前の受講料の振り込みが必要です。当日会場での支払いは原則的に受け付けませんのでご注意ください。 スライドセミナーは、事前資料としてパッチャルスライドを web 上で公開予定です。

〔資格更新単位〕 専門医更新単位は、午前中の診断講習会では各講演で 1 単位ずつ、午後のセミナーでは各コース 2 単位ずつの取得が可能です。

〔受講料 (1 コース)〕

	一般会員	ジュニア会員	シニア会員	非会員
病理診断講習会	5,000 円	3,000 円	無料	8,000 円
スライドセミナー (1 コース)	10,000 円	5,000 円	10,000 円	15,000 円

詳細・参加登録については IAP ホームページ <http://www.iapjapan.org> をご参照ください。

〔問い合わせ先〕

IAP 日本支部 教育委員長 長尾 俊孝

IAP 日本支部東京事務局 松原 修, 大谷 茉莉

Tel: 050-5274-8683

(東京医科大学人体病理学分野)

E-mail: [tokyo.office@iapjapan.org](mailto:tokyo.office@iapjapan.org)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1

TEL: 03-3342-6111 FAX: 03-3342-2062

Email: [pathol-1@tokyo-med.ac.jp](mailto:pathol-1@tokyo-med.ac.jp) (事務担当 田中・篠田)

〔IAP 日本支部入会について〕

IAP 日本支部会員になると、病理学教育セミナーの会員割引 (上記をご参照ください)、USCAP 雑誌の会員価格での定期購読などの特典があります。詳細は IAP 日本支部のホームページをご覧ください。入会申し込みも同ホームページ上から可能です。

IAP 日本支部のホームページ: <http://www.iapjapan.org>